

教育部 教育総務課  
令和8年6月定例会 厚生文教委員会

「生駒南小学校・生駒南中学校整備事業」の説明資料

資料1 生駒南小学校・生駒南中学校整備事業 基本設計

## 生駒南小学校・生駒南中学校整備事業 基本設計

---

1. コンセプト
2. 配置計画
3. 外観デザイン
4. 平面計画
5. 内観デザイン
6. コスト・スケジュール

株式会社 類設計室

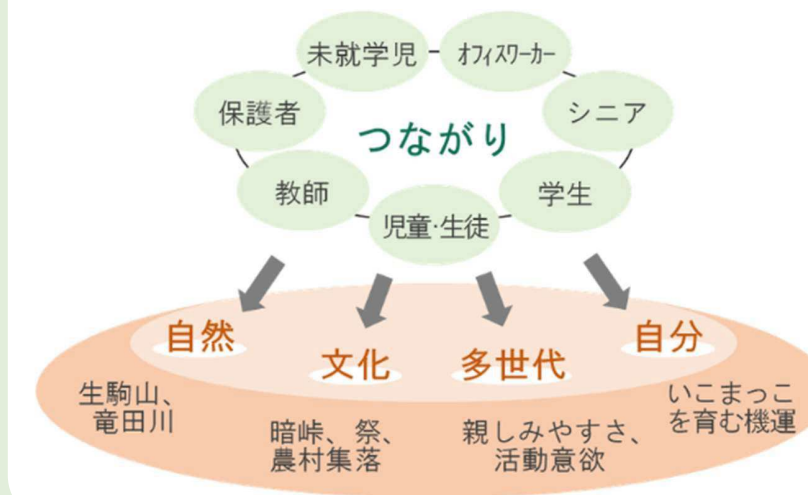
■目指す学校像

[基本構想や第三次生駒市教育大綱をもとにした学校像]

- ・自分に合った居場所を、自分で選び学べる【個別・協働の学び】
- ・互いの個性を認め合い、誰もが等しく楽しめる【インクルーシブ】
- ・多世代とつながり、地域とともに育める【地域とともにある】



共創スタジオ参加者からの期待



■コンセプト

『一人ひとりが根を張り、地域とともに創る”学びの森”』



■空間計画のキーワード

彩る

- ・人数・活動に応じた多様な居場所
- ・天井高さ、広さなど空間の大小
- ・感性を高める様々な素材や色彩

響きあう

- ・地域・自然とのつながる場
- ・緩やかなエリアの重なり
- ・有機的な環境・形態

巡りゆく

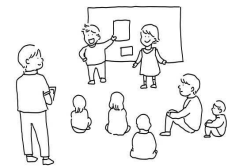
- ・歩き回って楽しい空間
- ・屋内外をめぐり、出会う
- ・多世代がまじわり継承する

『一人ひとりが根を張り、地域とともに創る”学びの森”』

ゾーニングダイアグラム

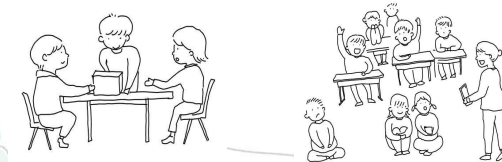
**MEDIA FOREST (メディアフォレスト)  
CREATIVE HALL (クリエイティブホール) = コモンスペース**

活動：異学年・地域と交流、共有、休憩 など  
特徴：対話や遊びスペースを設置し、仲間との交流を促す場。  
本・メディア・展示を通じて新たな世界に出会う場。



**Class Pod (クラスポッド) = クラススペース**

活動：課題共有、振り返り学習、成果発表 など  
特徴：見通しが良く、1クラスが集まれる広さのスペース。  
床座の学習も可能。



**Park (パーク) = コラボスペース**

活動：ペア・グループ学習、協働作業 など  
特徴：複数人が集うセミクローズの部屋、ラボスペース。  
グループ机、可動ホワイトボードを設置し、対話・  
製作を中心としたアクティブな活動が可能。

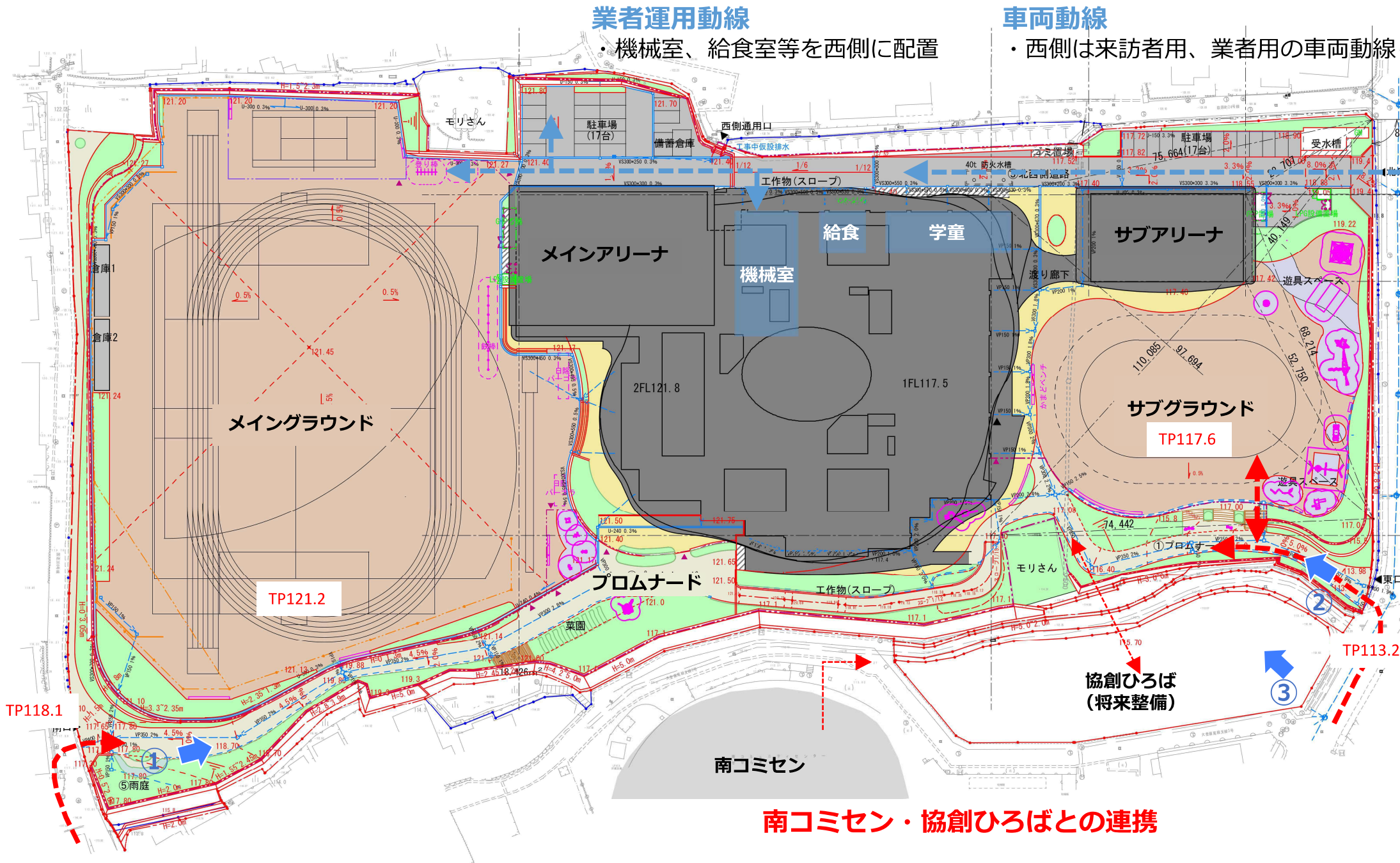


**Nest (ネスト) = フォーカススペース**

活動：読書、映像視聴、気持ちを落ちつける など  
特徴：子どもスケールに合わせた静かで小さなDENスペース  
多種多様な材料を用いて、過ごしやすい居場所とする



## 2 配置計画

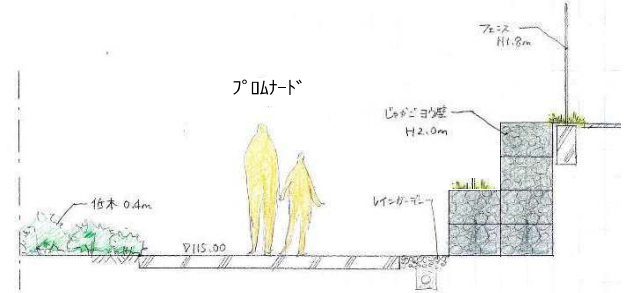


**舗装**  
・舗装のラインは、外観と調和する曲線の波紋形状で構成

**サブグラウンド**  
・休日・放課後は地域に開放  
・地域の公園として日常的に利用しやすい環境づくり

**プロムナード**  
・地域の方がいつでも利用できる  
・プロムナード沿いは多世代が利用できる遊具・運動器具を配置

**南コミセン・協創ひろばとの連携**



①プロムナード南口



②プロムナード東口



③協創ひろば (将来整備)



鳥観



## 3-1-① 外観デザイン 校舎棟

### 1. 基本方針

- ・ 生駒山の山並みと調和する森のような学び舎とすることで、地域に親しまれる学校とする。
- ・ 校舎のプランに合わせた有機的な形状のテラスや、樹木形状の耐震フレーム、仕上げをアースカラーとすることで、森のような外観デザインを実現する。
- ・ 敷地のレベル差（南北で4.0m）を活かした、段丘形状の校舎とし、ランドスケープと一体的な景観を形成する。

### 2. 外装計画

- ・ 周囲の景観に馴染みつつ、南生駒のシンボルとなる外観デザイン【地域性】
- ・ 中長期的な美観を維持しやすく、更新しやすい素材を選定【清掃・更新性】
- ・ ZEB-ready相当の省エネ性能の確保【省エネ】

#### 【外壁】

- ・ 窯業系サイディングとし、周辺景観の色合いになじみやすいセメント調の材質とする。

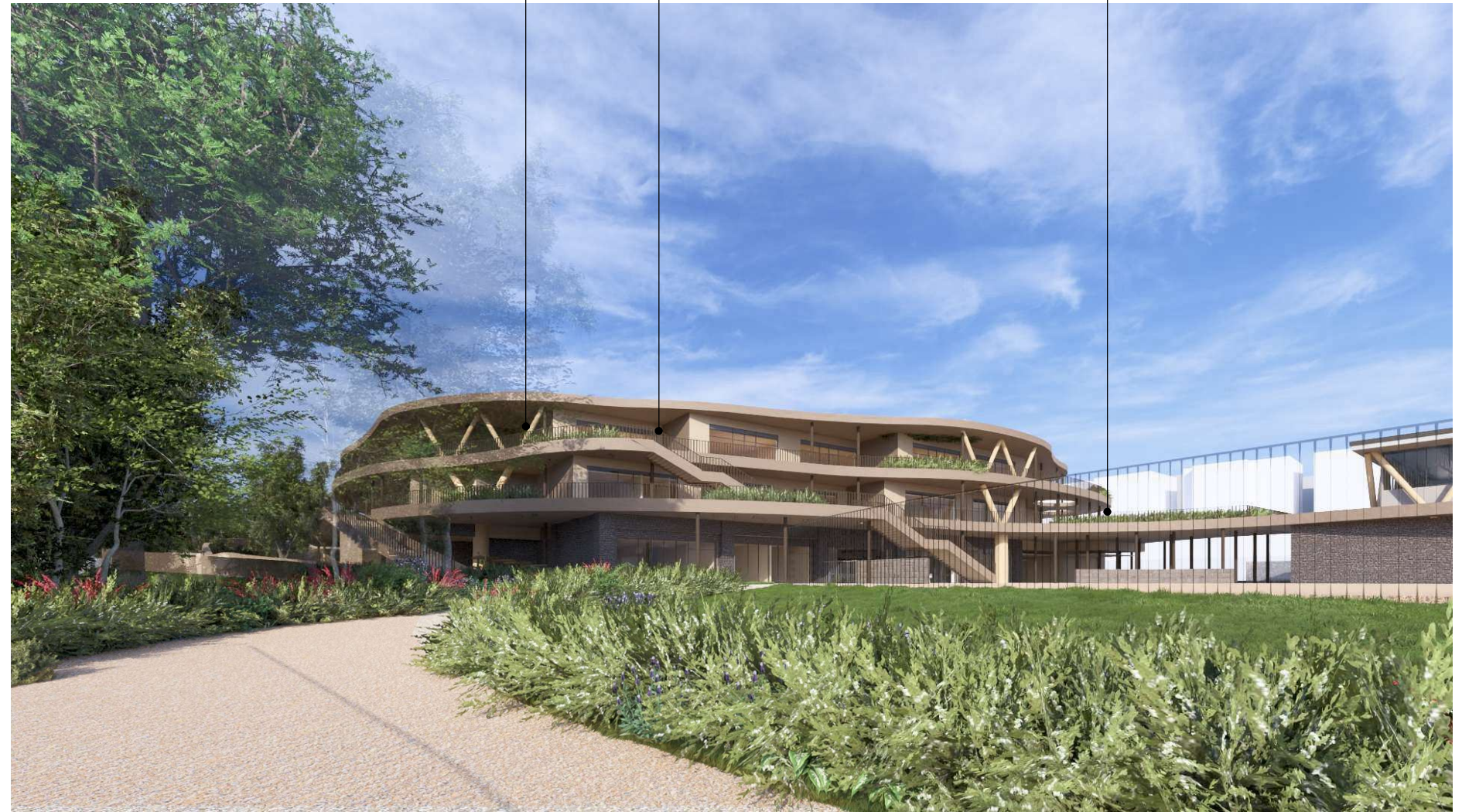
#### 【屋上】

- ・ RCスラブ+アスファルト系塗膜防水とすることで、シームレスな防水層を構成し、改修時も塗り重ねでの対応が可能な計画とする。

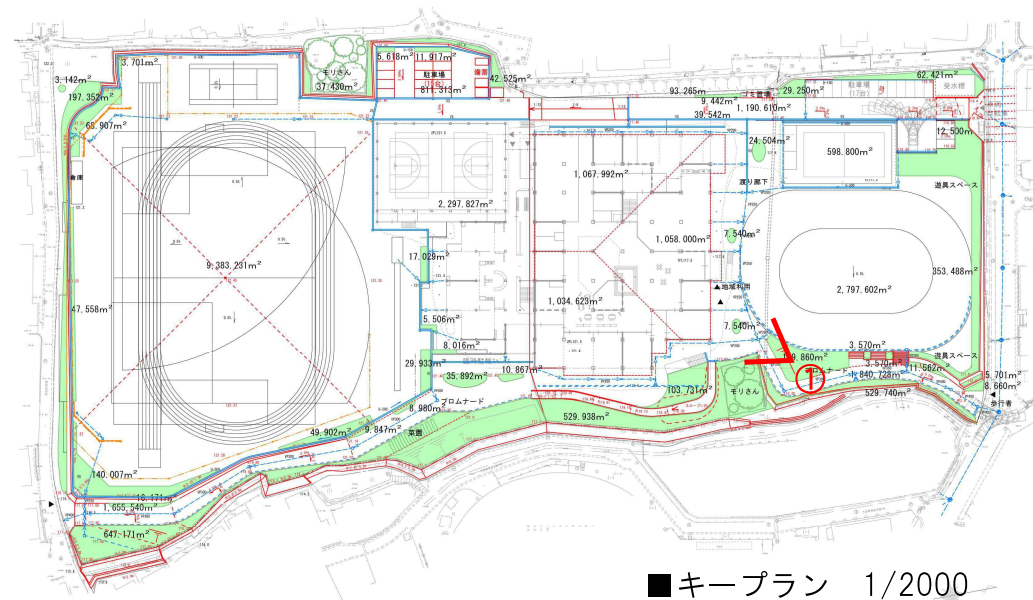
有機的なテラス形状と  
樹木形状の耐震フレーム

段丘形状とすることで  
ランドスケープと一体的な景観形成

校舎棟とサブアリーナを繋げ  
伸びやかな外観計画とする。



① 北側プロムナードからのアイレベル



■ キープラン 1/2000



▲ 前回提示パース

## 3-2 外観デザイン アリーナ

### 1. 基本方針

- アリーナは合理的な箱型形状としつつも、低層部と高層部を分節することで、圧迫感を低減し、校舎やランドスケープとも調和する外観計画とする。
- メインアリーナは軽やかな屋根形状とすることで、周辺への圧迫感を低減。
- サブアリーナはサブグラウンドに対して開放的なデザインとする。また、校舎棟と同様に耐震性とデザイン性を兼ねた樹形フレームを採用することで、校舎とアリーナの一体感のある外観計画とする。

### 2. 外装計画

- 周囲の景観に馴染みつつ、南生駒のシンボルとなる外観デザイン【地域性】
- 中長期的な美観を維持しやすく、更新しやすい素材を選定【清掃・更新性】
- ZEB-ready相当の省エネ性能の確保【省エネ】

#### 【メインアリーナ】

- 外壁：吹付塗装とすることで、砂ぼこりなど汚れが目立ちにくい計画とする。
- 屋根：金属屋根とすることで、漏水のリスクを軽減しつつ、メンテナンスコストを抑えた計画とする。

#### 【サブアリーナ】

- 外壁：1階レベルはRC、2階レベルは窯業系サイディング+水平ガラスとする。外周を回る樹形フレームは耐震性の向上や大開口を支える役割を持ち、構造デザインと外観デザインの整合のとれた計画とする。
- 屋根：金属屋根（縦葺き）とすることで、3/100の勾配で水平性のある大屋根となるよう計画。東から西への片流れとし、メインとなる東面には堅樋のない計画とする。



ハイサイドライトで採光を確保

ECP+吹付塗装

連続するスラブラインで一体的なデザインを実現

①メインアリーナ外観



ハイサイドライトで採光を確保

窯業系サイディング

RC+吹付塗装

大開口を設けることでサブグラウンドとの一体利用を促進

連続するスラブラインで一体的なデザインを実現

校舎棟から連続する樹形フレーム

②サブアリーナ外観

